

平成24年度事業計画書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

平成24年度は、公益性を重視し、継続して安定的な活動を行うことを基本として、経済情勢の変化による収入の減少に備え、助成金額は前年度並とし、次年度の活動を踏まえて予算編成を行った。

特に科学教育の助成に引き続き力を入れると共に、その一環としてこの助成を受け成果を挙げられた方の実績を図書として刊行し、広くその活動を紹介していく。

1. 助成事業

(1) 第26回研究費の助成事業

- (i) 助成対象 化学の領域における基礎研究または応用研究であって、先駆的独創的にして、わが国の科学技術の振興に貢献することが充分期待され得るもの。
- (ii) 助成金額 1件100万円（設備備品費、消耗品費、国内旅費）までを限度とする。
- (iii) 推薦 候補者は、本財団役員及び評議員、またはこの法人で適当と認めた化学系学会等の推薦による。

(2) 第34回国際交流助成事業

- (i) 助成対象 化学の領域において、次の国際研究交流に貢献することが期待されるもの。
 - ① 海外における国際研究集会への出席、または主催者側から必要と認められて招聘される者。ただし、国公費による出張者を除く。
 - ② 国内で行われる国際研究集会。
 - ③ 国外で行われる国際研究集会。
- (ii) 助成金額
 - ①の場合：1件30万円（渡航運賃）までを限度とする。
 - ②の場合：1件50万円（会場費、印刷費、国内滞在費）までを限度とする。
 - ③の場合：1件50万円（滞在費、印刷費、招聘費）までを限度とする。
- (iii) 推薦 「研究費の助成」の場合と同じ。

(3) 第26回研究交流促進助成事業

- (i) 助成対象 産業・経済の発展に貢献することが期待される科学技術に関し、産学官等の研究交流促進が図れるもの。
- (ii) 助成金額 1件100万円（会議開催費、講師招聘費用費等）程度とする。
- (iii) 募集 原則公募による。

(4) 第7回科学教育の普及・啓発助成事業

- (i) 助成対象 科学技術や理科に興味を持った青少年を育成することを目的として、科学教育の普及・啓発が期待されるもの。
- (ii) 助成金額 1件30万円、50万円、100万円(会議費、印刷費、教材費、備品費、旅費、講師料等)から選ぶものとする。継続助成は原則3年。
- (iii) 募 集 原則公募による。

2. 表彰事業

(1) 第23回向井賞の表彰事業

- (i) 表彰対象 科学技術の振興に関する特に優れた研究業績。
- (ii) 表彰内容 1件：賞状ならびに賞牌、副賞(100万円)。
- (iii) 推 薦 本財団役員及び評議員、または、この法人で相当と認めたものによる。

(2) 第21回向井記念科学講演会の開催

科学技術の振興に貢献することを目的として、向井賞受賞者の講演を中心とした講演会の開催。

3. その他の事業

(1) 神奈川県青少年科学作文コンクールにおける表彰

(2) MOA 美術館川崎市児童作品展における表彰

(3) 科学教育に関する図書の刊行

科学教育の普及・啓発助成の活動成果を本として刊行し、青少年の理科離れに対する活動をさらに活性化させる。

4. 以上の事業運営のため、次の各種集会を行う。

- (1) 理 事 会 3回(6、12、3月)
- (2) 評議員会 3回(6、12、3月)
- (3) 選考委員会 1回(助成部門、表彰関係)(2月)
- (4) 選考部会 随時(助成部門)
- (5) 企画会議 随時
- (6) 運営会議 随時
- (7) 表彰・贈呈式 1回(6月・川崎)
- (8) 記念科学講演会 1回(//)

以上